

恵庭 岳

- 火山活動評価：静穏な状況
火山活動は静穏な状況です。

- 概況
・ 火口や噴気の状況（図 1～2）

22 日に北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。

恵庭岳では、1993 年（平成 5 年）に札幌管区気象台が実施した機動観測により、山頂東側の爆裂火口内で沸点程度の地熱と弱い噴気が認められており、現在もその活動が続いています。

今回の観測でも、爆裂火口からごく弱い噴気が認められ、その状況に変化はありませんでしたが、赤外熱映像装置*による観測では、日射の影響により、地熱域に対応した高温域は確認できませんでした。

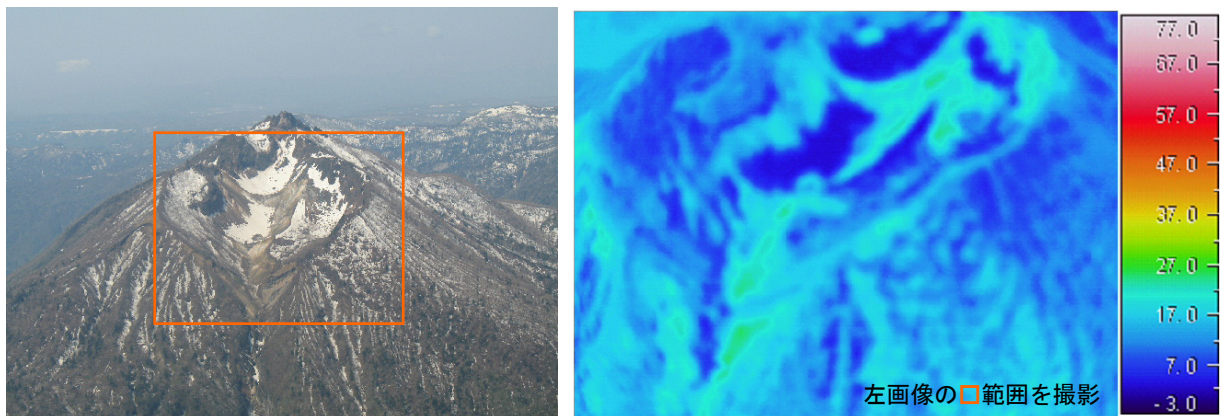


図 1 恵庭岳 赤外熱映像装置*による山頂爆裂火口の表面温度分布
(2007 年 5 月 22 日 図 2 ①方向から撮影)

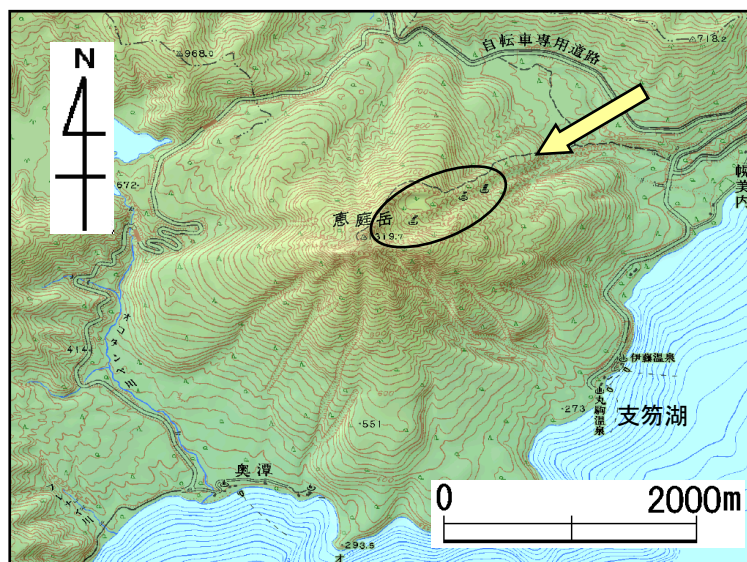


図 2 恵庭岳 周辺図 黒円：山頂爆裂火口

*赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。